

木で暮らしと社会を豊かにするモノ・コトを表彰 「ウッドデザイン賞2020」 上位賞(最優秀賞等)の決定!



「ウッドデザイン賞」は、木にまつわる優れたモノ・コトを表彰する制度です。木材の利用拡大のためには、消費者の皆さんに向けて、木の良さや価値を再発見できる建物、製品、取組などを具体的に提示することが必要との考えから、2015年度に創設されました。

第6回目となる今年度は、全国各地から432点の応募があり、書類による1次審査、現物などによる2次審査を経て、191点の作品が「ウッドデザイン賞」を受賞しました。さらに、この受賞作品の中から、最優秀賞(農林水産大臣賞)1点、優秀賞(林野庁長官賞)9点、奨励賞(審査委員長賞)15点、特別賞(木のおもてなし賞)4点が選ばれました。

最優秀賞は、「有明体操競技場」が受賞しました。日本の伝統的な木造建築の美しさを醸し^{かも}つつ、多くの観客を迎え入れる競技場の機能性を併せ持った、国際規模のスポーツ競技大会を行う施設です。

今後も幅広い分野・業種の方々に参加いただき、多様で新しい木のデザインが生まれ出され、それがモデルケースとなって木材の利用が更に広がっていくことを期待しています。

続いて、受賞作品と審査委員会の講評をご紹介します。

ウッドデザイン賞2020受賞作品

最優秀賞(農林水産大臣賞)

● 有明体操競技場

〈ソーシャルデザイン部門 建築・空間分野〉

(株)日建設計(東京都)、清水建設(株)(東京都)、(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(東京都)

競技エリア天井の木架構の現しなど「質素で潔い建築」が見る者を圧倒し、カラマツの大屋根、スギの外装や観客席などに日本各地から調達した2,000㎡以上もの木材を使用するなど、日本の「木を使い、木と親しむ文化」の海外への発信を担うにふさわしい。



上位賞受賞作品の詳細や全受賞作品は下記HPでご覧いただけます。

▶ ウッドデザイン賞公式HP

<https://www.wooddesign.jp/>



(お問い合わせ)

▶ ウッドデザイン賞運営事務局

info2020@wooddesign.jp

優秀賞(林野庁長官賞)

ライフスタイルデザイン部門



● CLT PARK HARUMI

〈建築・空間分野〉
三菱地所㈱(東京都)ほか
CLTのショーケースとして子どもや来場者が木に触れその魅力を感じることができ、多様な工法による多様な空間、端材を使ったテーブルやスツールなど、随所に木を感じられる仕掛けがある。地域材を活用し、都心で利用した後は解体・移築して里帰りさせる木造建築ならではの独創的な取組。



● Continuum(コンティニウム)

〈建材・部材分野〉
㈱九銘協(福岡県)
斜めに継ぎ合わせた連続性のある木の意匠が独特の緊張感を生み出し、店舗の顔となるカウンターに使えばインパクトがある。店舗設計の視点からも刺激もらえる斬新さがある。



● 木硯(もっけん)

〈木製品分野〉
YOAKE(福岡県)ほか
手書き文化の復権と素材としての木の活用を融合させ、日本文化を再認識させる意欲的な作品で硯(すずり)の質感がとてもよい。

ハートフルデザイン部門



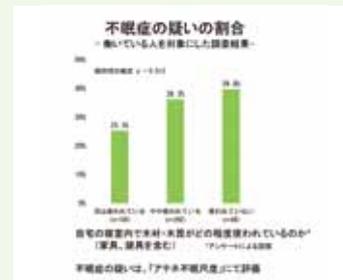
● 奈良県コンベンションセンター

〈建築・空間分野〉
奈良県(奈良県)ほか
吉野杉集成材と鉄骨ハイブリッド架構の大屋根広場の大きさと意匠が印象的な施設で、地域材の多様な活用方法を見せてくれる魅力的な空間。構造材や内外装材のみならず、スギ皮和紙や鉋くずを貼ったガラススクリーンなど、アート性に富んだ多彩な表情が面白い。



● ハケ岳カラマツチェンバロ・プロジェクト

〈コミュニケーション分野〉
㈱ハケ岳高原ロッジ(長野県)ほか
1960年代前半、33万本のカラマツを植えることから始まり、50年余の時を経て日本最大級の高原リゾートとなったハケ岳で、自然、森林、芸術が織りなす新たな取組。国内屈指の木造コンサートホールで奏でられるチェンバロは、木目を大切にしたい美しいデザインが特徴。



● 寝室に木材系内装や家具が多いと働く人の不眠症の疑いが少ないことを実証:筑波大学睡眠疫学プロジェクト

〈技術・研究分野〉
(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所(茨城県)ほか
木材利用と健康の関連性を科学的に実証した社会有用性の高い研究。エビデンスが整うことで、寝室の家具や内装材に木材を使うことの必然性がさらに加速されることを期待。

ソーシャルデザイン部門



● FLATS WOODS 木場

〈建築・空間分野〉
㈱竹中工務店(東京都)ほか
新開発の木造部材の採用により、簡易かつ汎用性ある接合や施工方法を確立した社会提案性の高いチャレンジングな取組。12階の共用部に各技術や部材をモチーフとした家具が配され、利用者が直接、木の温もりや香りを感じることができる。



● 西脇市立西脇小学校保存・改修に伴う基本計画および工事

〈建築・空間分野〉
西脇市(兵庫県)ほか
既存木造校舎の改修に、耐震、耐火、バリアフリー化や温熱環境への配慮など対策を実施し、木造建築の価値を再認識させる契機を生む。地域の記憶を留める木造校舎が次世代に引き継がれ、新たな木材利用の扉を拓くことを期待。



● 1964東京オリンピックゆかりの木プロジェクト

〈コミュニケーション分野〉
(公財)日本オリンピック委員会(東京都)ほか
ミュージアム天井にゆかりの木の木製ルーバーが設置され、温かく美しい空間が来場者をもてなす。年月を可視化する森と木が、オリンピック・レガシーを次の世代にまた引き継いでくれるだろう。

表彰式

12月18日(金)に、木材会館(東京都江東区)で上位賞受賞者を対象に開催されました。
表彰式の動画は、令和3年12月17日までの間、下記のURLからご覧いただけます。
URL: <https://channel.nikkei.co.jp/d/?p=1218srh&s=2953>

